

令和4年度 地域復興実用化開発等促進事業費補助金（一次公募・継続）採択結果一覧

1 廃炉分野

《採択》

No.	事業計画名	概要	企業・団体名	実用化 開発場所
1	低エネルギーベータ線の連続計測装置の開発	福島第一原発事故を受けて、廃炉作業が進む中、放射性汚染水の簡便な計測法が求められている。本開発では低エネルギーベータ線を連続で計測できるシンチレーションカウンターの開発と、其れを用いたオンライン全量計測システムの開発を行う。	(一社) 新生福島先端技術振興機構 «1380005011458»	南相馬市
2	廃炉、除染を促進する、小型・軽量な全方位型放射線イメージングシステムの開発	福島第一原子力発電所の廃炉に向けた取り組みのうち、燃料デブリの取り出しは最も困難な作業である。本開発では、極限の高線量環境下における放射線量率マップとカメラで取り込んだ画像をVR画面上で融合し、3次元リアルタイムマッピング可能な全方位型放射線イメージングシステムを開発する。	(株)スター精機 ※ «5380001015896»	相馬市
			(株)EXA ※ «6370001042016»	相馬市
			(株)C&A ※ «1370001022550»	相馬市

※自治体連携枠での採択

## 2 ロボット・ドローン分野

《採択》

No.	事業計画名	概要	企業・団体名	実用化 開発場所
1	特殊用途における業務用自律移動ロボットの実用化開発	人間の関与が不要な自律走行が可能で、特殊用途における日常作業の生産性向上に貢献する、業務用自律移動ロボットの実用化開発を実施する。製作においても南相馬市内企業と連携し、メイドイン南相馬の革新的なサービスロボットの実用化を目指す。	(株)クフウシヤ ※ «2021001054849»	①南相馬市 ②神奈川県
2	自律航行・自動航行を前提とした農業用・物流用無人機システムの研究開発	自律航行と自動航行を前提とした、農業用ドローンおよび物流用ドローンを開発するとともに、RTK基地局運行管理システムを開発し、田村市内の圃場・農地において実証実験を実施する。	(学)慶應義塾 慶應義塾大学SFC研究所 ※ «4010405001654»	田村市
3	給食センターや店舗等の厨房で利用される調理ロボットの研究開発と実証	浜通り地区の社員食堂や給食センターおよび一般店舗において、調理工程や食洗工程にロボットを導入することで、省力化・均一化を実現する「未来の厨房」を研究開発し、実用化に向けた実証実験ならびに量産試作を行う。	コネクテッドロボティクス(株) ※ «3080401019926»	南相馬市
			タニコー(株) «2010701005897»	南相馬市
4	UAVを用いた即応海洋観測・監視プラットフォームの実用化開発	四方を海に囲まれた日本。海に関連する課題は産業利用の推進、由来する自然災害、環境の維持保全等と複雑化・広域化しています。これらの社会的課題に対応すべく、UAVを用いた即応海洋観測・監視プラットフォームの実用化開発を目指します。	(株)スペースエンターテインメントラボラトリー ※ «8010801024800»	南相馬市
5	日本車の信頼性を持った、安全・安心な産業用中大型ドローンの開発	日本車水準の信頼性を持った産業用中大型ドローンを実現するため、「産業用中大型ドローン開発連携基盤」を開発し、それを活用して地域連携による産業用中大型ドローン標準プラットフォーム（デジタルモデル）を開発する。	(株)先端力学シミュレーション研究所 «2030001047878»	南相馬市
			(株)アテック «5011601000366»	南相馬市
6	ドローンを用いた次世代型インフラ点検技術の実用化開発	ドローンを用いた橋梁点検の高効率・高精度撮影技術と、点検画像の加工・損傷解析技術、橋梁維持管理業務に活用可能な3D点検データプラットフォームを開発することにより、橋梁の予防保全化および維持管理コストの低減を図り、社会インフラの安心・安全に貢献する。	(株)デンソー ※ «9180301014251»	南相馬市

※自治体連携枠での採択

No.	事業計画名	概要	企業・団体名	実用化 開発場所
7	福島浜通り地域の活性化貢献および持続可能なモビリティサービスの構築	人口低密度地域でも持続可能なモビリティサービスのスキーム確立による浜通りの活性化貢献を目指し、運用効率に優れた運行システムの開発、実証実験によるシステム、受容性、事業性の検証、移動利用機会創出を行う。	日産自動車(株) ※ «9020001031109»	浪江町
8	ドローンを使った大型風力発電用ブレードに内装されている雷対策用接地線の断線点検実用化開発	本事業はロープワークで行っている雷対策用接地線（以下ダウンコンダクタ）の断線確認を、ドローンを使って安全、確実、スピーディにできることを実証し、また低コストで汎用性の高い点検方法を実用化することである。	(株)東日本計算センター ※ «3380001013670»	いわき市
			(株)福島三技協 ※ «6380001001441»	福島市
9	ロボットを災害現場でタイムラインに沿ってシームレスに運用するための実用化開発事業	本事業は、消防本部・消防署への災害対応ロボット・システムの販売（災害対応ロボットの社会実装）を目的に「隊列飛行システムを基盤技術とした複数ロボットを災害現場でタイムラインに沿ってシームレスに運用するためのシステム及び機器」の開発を行う。	(一社)ふくしま総合災害対応訓練機構 «9380005012143»	南相馬市
			(株)東日本計算センター «3380001013670»	いわき市
10	ドローン搭載型グリーンレーザーを使用した危険度判定	気候変動による大規模水害等に備え、ドローン搭載のグリーンレーザーにより河川および海岸域の地形及び堆砂・侵食状況を把握し、今後の減災・防災計画や諸活動に資する情報を提供することを目的とする。	(株)ふたば «9380001016676»	富岡町
11	高ペイロード大型ドローン用の高性能ハルバツハモータシステムの実用化開発	全速度域において、従来のモータをはるかに超える高性能を有し、来るべき「空飛ぶクルマ」社会に求められる航続距離、積載量共に40%以上の増を実現し、さらには発電効率が従来機の40～50%増も実現する発電機利用も可能となるハルバツハモータの実用化を目指す。	(株)マグネイチャー «1010101013642»	南相馬市
12	特殊環境向けアバターロボット（人型遠隔操作ロボット）開発事業	アバターロボットを現場適応ベース機、危険環境対応機と段階的に作業能力・環境対応能力を向上させ、最終的に廃炉作業を含めた特殊環境下で人と同等以上の作業が可能な特殊環境対応機の社会実装を目指す。	(株)メルティンMMI ※ «7012401024371»	南相馬市
13	導入促進のための屋内汎用移動ロボットBUDDY改良開発	飲食業界等は業務の自動化の必要性を強く認識しており、ロボットの試験導入を進めている。導入の手間と周辺業務対応強化が課題であるため、本事業では、AI搭載によって適用業務を増やし、同時に導入工数削減に取り組む。	SOCIAL ROBOTICS(株) «9012801016628»	南相馬市

※自治体連携枠での採択

### 3 エネルギー分野

《採択》

No.	事業計画名	概要	企業・団体名	実用化 開発場所
1	新規な炭素材料の開発とその製造及び評価技術	蓄電デバイス用途を中心にエネルギー分野に適した新規な炭素材料製造の事業化を目標として、豊富な経験をもとにした炭素構造制御技術による高機能・高性能化、競争優位性に優れる独創的な製造技術の開発を行う。	(株)クレハ «7010001034766»	いわき市
2	地域への再エネ導入拡大に貢献する、リユース蓄電池システムの大規模化技術の開発	前年度に設置した大型リユース蓄電システムを利用し「マルチユースEMS」を開発。複数形態の大型蓄電事業を統合制御し、再エネ利用を促進することで、地域のゼロエミ化に貢献する「エネルギーサービス事業」を目指す。	住友商事(株) ※ «1010001008692»	浪江町
3	大型風力発電プロジェクト向け耐疲労性を考慮した太径タワー連結ボルトの実用化開発	阿武隈地域風力発電事業に地元企業から安心、安全なボルトを供給するために、金属組織制御技術を応用した業界初の耐疲労性を考慮したタワー連結ボルトの実用化開発に取り組む。	東北ネチ製造(株) «3380001013415»	いわき市
4	商業施設RE100化実現のためのエネルギーマネジメント技術開発	再生可能エネルギー由来電力の比率向上に向け、商業施設などの事業所での利用を想定したエネルギーマネジメントシステムを開発する。本システムは地域内連携も可能であり、従来技術と比較してコストの低減とEV活用率の向上が可能となる。	日産自動車(株) ※ «9020001031109»	浪江町
5	IGCCスラグの石炭灰混合材料への利用	本開発は、福島エコクリートが現在製造している石炭灰混合材料（OR クリート）に、県内で運転開始予定の石炭ガス化複合発電プラントから発生するIGCC スラグを混合利用することで製品の力学特性の向上を図り、上層盤利用を含めて浜通りの建設工事における利用拡大を目的とするものである。	福島エコクリート(株) ※ «9380001026642»	南相馬市
6	石炭灰を主原料にした環境修復材(ろ材)の開発	OR クリアートの新たな市場開拓として、石炭灰混合材料の多孔質性、シリカ・カルシウムの溶出特性、透水性およびアルカリ性に着目した環境修復材(ろ材)の開発を行い、早期の社会実装を目指す。また、近年問題となっている強酸性の人工透析排水処理に対して安価な中和処理材としての活用を目指す。	福島エコクリート(株) ※ «9380001026642»	南相馬市
7	地域循環型社会形成促進を目指した汚泥乾燥品利活用システムの実用化開発	相馬市の復興と発展を推進すべく、汚泥乾燥品の管理システムを開発し、安定した品質保全により当該課題の解決を目指した開発を行う。特にLIBS を活用した分析手法を推進する。 (LIBS: Laser Induced Breakdown Spectroscopy レーザ誘起ブレイクダウン分光)	(株)IHI ※ «4010601031604»	相馬市

※自治体連携枠での採択

5 農林水産業分野

《採択》

No.	事業計画名	概要	企業・団体名	実用化 開発場所
1	都市部の木造化に向けた県産スギを活かす異樹種混合・高強度大断面集成材の開発	国内また浪江町が目指す「カーボンニュートラル社会」の実現に向け、建築材としての木材利用による炭素貯蔵機能が果たす役割は大きい。 国内・福島県で最も多く生育する「スギ」材を都市部の木造施設へ利用促進すべく、中高層木造で必要とされる性能を有したスギの異樹種混合・高強度集成材の開発を行う。	(株)ウッドコア ※ «4380001028759»	浪江町
2	地域資源循環を促進するドローンとAIを活用した森林資源推定・予測システムの開発	本事業では、放射能汚染により現状は利用が困難な浜通り地域の森林の管理に資することを目的として、ドローンによるレーザー計測と機械学習技術、森林モデリングの技術を統合し、広域での毎木(樹木個体)レベルでの森林資源量の推定と将来成長予測を行うシステムを開発する。	(国研)国立環境研究所 «6050005005208»	つくば市 三春町
			(株)ふたば «9380001016676»	富岡町
3	食の安心・安全を確保する食肉用軟骨自動判別とその自動切除装置の開発	新規のX線透過技術、X線検出技術、AI画像処理技術を活用し、外食産業などで強く要望されている「食肉中の軟骨を自動的に選別できる装置」の開発を行い、食肉検査市場に安心・安全を目指した新しいサービスを提供します。	(株)三和製作所 «9020001046940»	南相馬市
4	陸上養殖プラントにおける作業の自動化と収益性向上に貢献する給餌システムの開発	新設が相次ぐ陸上養殖事業において、プラント運営コスト及び作業時間の5割を占める「餌やり」を AI システムにより自動化・効率化し、福島県浜通り地域発の新規事業として国内外に販売展開を進める。	(株) 林養魚場 «1380001010380»	いわき市
			ウミロン(株) «2010601050333»	いわき市
			NECネットエスアイ(株) «6010001135680»	いわき市
5	植物ワクチンの開発及びワクチン接種苗の実用化	国内野菜産地において防除が困難とされる病原菌、キュウリとカボチャでは3種または2種の全ウイルス、メロンでは土壌伝染性のカビを防除する植物ワクチンの開発及びその接種苗の実用化、並びに大量生産システムの開発導入を目指す。	ベルグ福島(株) ※ «7380001023939»	川俣町
6	次世代分解技術を活用した養殖の国産工サ生産事業	水産養殖業の飼料について、廃棄されている動物性原料・植物性原料を活用しつつ、分解技術を応用した低価格・高機能の養殖飼料を開発し、拡大する養殖マーケットで実用化を目指す。開発された養殖飼料の効果を実証するため給餌試験を行う。	(株)リジエンワークス «1010401142805»	南相馬市
			(株)林養魚場 «1380001010380»	西郷村
7	パネルログ構法に関する新商品の研究開発	福島県浜通りの林業・製材加工業・建設業の復興と繁栄に貢献するため、地域木材をふんだんに活用した大規模・高層建物に関する「パネルログ構法」の設計仕様を新たに研究し、新商品の開発を行う。また、パネルログ製品のさらなる生産効率化を目指す研究開発を行う。上述を合わせて、SDGs やカーボン・ニュートラルにどの程度寄与するかを可視化し、顧客に分かりやすく伝えることで、市場競争力を強化する。	(同)良品店 ※ «2380003002813»	富岡町
8	本ワサビの施設利用養液循環型水耕促成栽培技術の実証	条件不利地とされる山間地域の冷涼な気象条件を活用しつつ、「いつでも、どこでも、だれでも」、高い価値を持つ本ワサビ(根茎・葉茎)の生産を可能とする水耕促成栽培技術の確立を図り、その技術の地域への普及を通じて地域の振興を目指す。	六洋電気(株) «4380001001823»	飯舘村

※自治体連携枠での採択

6 医療関連分野

《採択》

No.	事業計画名	概要	企業・団体名	実用化 開発場所
1	ゲノム編集技術を基盤としたニワトリ鶏卵における抗体などタンパク大量生産の実用化開発	ゲノム編集技術を基盤とする革新的な細胞加工技術VIKING法を活用し、ニワトリ鶏卵による抗体大量生産を実現する「次世代型生物工場」の実用化開発を行う。有用タンパク質を産生する技術基盤としての活用および次世代の第一次産業の活性化も期待でき、福島県浜通り地域から新たな産業の創出を目指す。	(株)セツロテック «8480001009927»	新地町
2	ゲノム編集技術による高効率抗体医薬生産細胞樹立技術の実用化開発	抗体医薬は従来の低分子医薬に替わる画期的な治療薬であり、近年その市場規模は拡大が続いている。一方で抗体医薬生産の成否は、均質な抗体を安定的に産生する細胞の作出が課題であり、高効率・低コストに抗体産生細胞を作出する技術の実用化が急務である。本提案では、独自開発した高効率高速型ゲノム編集技術sBSK法を導入することで、高効率抗体産生細胞の作出法を実用化し、抗体医薬市場に参入する。	(株)セツロテック «8480001009927»	南相馬市
3	非侵襲検体による災害対応型オンサイト検査デバイスの実用化開発	被災地や災害医療現場では、簡便且つ迅速な手法により人の健康状態をモニタリングする必要がある。そこで本事業では、乾電池で動作可能な小型簡易検査装置の開発及び実用化を行う。	(公財)ときわ会 «7380005005669»	いわき市
			(株)ジーンクエスト «4010401106424»	東京都
			Blue Industries(株) «7010601048380»	いわき市
4	X線イメージングを飛躍させる超高解像度、高感度X線検出器の開発	目指すゴールは、革新的な光導波型シンチレータを用いることで、感度を低下させることなく、従来比1桁高い解像度を有するX線イメージングを実現し、かつ生体軟組織までも可視化できる医療用X線位相イメージング検出器の製品化である。	未来イメージング(株) ※ «3380001012458»	いわき市
			オールナビクーツ(株) ※ «2380001008721»	田村市
5	IoTロボットによる身体データの計測及び解析、それに伴う独自データプラットフォームの構築	実証実験中の車いす用シーティングシミュレータロボットと車いすの実用化に向け、IoT化した普及版の開発。その測定データをはじめ、幅広いIoT測定デバイスから健康情報を収集・統合・管理し、AIによる横断的な解析・活用するプラットフォームを開発する。	(株)R D S «6030001088514»	いわき市
6	ストレス及びメンタルチェック用AI 連携電子瞳孔計及び関連機器の開発及び研究	震災の後遺症、コロナ禍の影響等により、深刻化するストレス過多の社会問題解消のために、福島県田村市トブコンオプトネクス社と AIMS 独自の AI 技術を活かした電子瞳孔計測器及び、AI・IOT を活用したソリューション開発を先端企業各社及び産官学と連携する事で実用化します。	(株) AIMS ※ «1010001202535»	田村市

※自治体連携枠での採択

7 航空宇宙分野

《採択》

No.	事業計画名	概要	企業・団体名	実用化 開発場所
1	衛星データによる河川氾濫予兆検知を中核とした、防災支援システム「The Guardian」(開発コード)の実用化開発	衛星データによる川幅の変化から河川氾濫の予兆を検知し、今自分がある位置に対して浸水被害が及ぶ危険性がある場合にピンポイントで情報を提供する「命を守る」ための防災システム。地上データとしてドローン映像を衛星データと照らし合わせ、衛星の精度向上を行い、災害時にはライブ映像を提供することを目指す。	會澤高圧コンクリート(株) ※ «4430001055203»	南相馬市
2	高高度プラスチック気球の実用化開発	これまでの高高度気球は素材的に積載重量に限界があったため、新素材の強靱な高高度気球を実用化開発する。これにより高高度における幅広いミッションを実現できるように、宇宙実験等を実施し航空宇宙産業を活性化する。	(株)岩谷技研 «9380001026709»	相馬市
3	民間企業による低コストな小型衛星打上用ロケットの開発	近年急速に需要が高まっている小型衛星打上用ロケットに欠かせない要素技術の開発を行い、小型・低価格で高頻度に打上げ可能なロケットを実用化する。本計画では、ロケットの主構造や分離機構、制御コンピュータなどの重要部品を開発する。	インターステラテクノロジズ(株) ※ «5010401080445»	南相馬市
4	人工衛星搭載用の撮像素子開発と製品化開発およびその試験工程の構築	マツハコーポレーションがJAXAと共同研究開発をした耐放射線CMOS撮像素子をベースに人工衛星搭載用高性能撮像素子を開発し、人工衛星搭載用基準に準拠した品質の確立を目指す。更にその波及効果として、この撮像素子を使用した高精度耐放射線カメラを開発する。	マツハコーポレーション(株) «5040001073895»	南相馬市

※自治体連携枠での採択